

第 3 学 年
文 系

国語科年間指導計画【3年文学国語】

■単位数	■使用教科書	■使用副教材	
2単位	文学国語（筑摩書房）	熟語を音訓から学ぶ 新版・品詞別・頻出漢字マスター3000(尚文出版)、国語頻出問題1200(いっずな書店)	

■目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■内容

〔知識及び技能〕

- (1) 言葉の特徴や使いに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。
 - イ 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
 - ウ 文学的文章やそれに関する文章の題意や特徴などについて理解を深めること。
 - エ 文学的文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うこと。
- (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 文学的文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。
 - イ 人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。
〔思考力、判断力、表現力等〕
 - A 書くこと
 - ア 文学的文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にすること。
 - イ 読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫すること。
 - ウ 文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫すること。
 - エ 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の長所や課題を捉え直ししたりすること。
 - B 読むこと
 - ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。
 - イ 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈すること。
 - ウ 他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察すること。
 - エ 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察すること。
 - オ 作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。
 - カ 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めること。
 - キ 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のもの見方、感じ方、考え方を深めること。

■評価の観点とその趣旨

(1) 知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
(2) 思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、選んで読書に親しみ、言葉の効果的に使おうとしている。

■指導計画

月	単元名	知識及び技能				思考力、判断力、表現力等						言語活動					教材	評価の観点及び評価方法	配当予定時数
		(1)		(2)		書くこと			読むこと			アイウエオカ	アイウエオカ	アイウエオカ					
		アイ	ウエ	アイ	ウエ	アイ	ウエ	オカ	カキ	アイ	ウエ				オカ				
1学期前半	人物造形や心理描写に触れ、もの見方・考え方を深めよう	●															舞姫	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
1学期後半	内容や解釈を自身の知見と結びつけよう			●													舞姫	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
2学期前半	調べとリズムをとらえて心情を考察しよう	●				●											小景異情	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
2学期前半	文章を読み、新たな視座を得よう		●														絵画は紙幣に値れる	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
2学期前半	表現を突き詰め、もの見方・考え方を深めよう		●	●		●	●										無常ということ	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
2学期後半	背後にあるメッセージを読み取り、自身の考えを深めよう				●												寛容は自ら守るために不寛容に対して不寛容になるべきか	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
3学期	正確に読解しよう		●														問題演習	(1)-定期テスト (2)-定期テスト (3)-振り返りシート	
3学期	正確に読解しよう		●														問題演習	(1)-定期テスト (2)-定期テスト (3)-振り返りシート	

国語科年間指導計画【3年文系古典探究】

■単位数

4単位

■使用教科書

高等学校古典探究(第一学習社)

■使用副教材

古文解釈のための総合力を養う 完全マスター古典文法(第一学習社)、基礎から解釈へ 漢文必携(桐原書店)

■目標

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
 - (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 - (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わりようとする態度を養う。

■内容

〔知識及び技能〕

- (1)言葉の特徴や使い方に關する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
イ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めること。
ウ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。
エ 古典の作品や文章に表れている、言葉の書きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。
- (2)我が国の言語文化に關する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア 古典などを讀むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との關係について理解を深めること。
イ 古典を讀むために必要な文語のきまりや訓讀のきまりについて理解を深めること。
ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。
エ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。

〔思考力、判断力、表現力等〕

A 読むこと

- (1)読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。
イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。
ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。
エ 作品の成立した背景や他の作品などの關係を踏まえながら古典などを讀み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。
オ 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすること。
カ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。
キ 関心をもった事柄に關する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。
ク 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。

■評価の観点とその趣旨

(1) 知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。
(2) 思考・判断・表現	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

■指導計画

月	単元名	知識及び技能				思考力、判断力、表現力等								言語活動					教材	評価の観点及び評価方法	配当予定時数			
		(1)		(2)		読むこと								ア	イ	ウ	エ	オ				カ	キ	
		アイ	ウエ	アイ	ウエ	アイ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク												
1 学期 前半	和歌に触れ、背景事情を理解し考えを深めよう			●																	沙石集「歌ゆゑに命を失ふこと」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート		
	表現から心情を読み取り、文章にしよう	●																				枕草子「宮に初めて参りたるころ」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
	文章に現れたものの見方や考え方を理解しよう	●																				源氏物語「夕顔」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
	比喩を理解して考えを読み取ろう				●																	「不願後患」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
	時代背景を学び、他作品と比較しよう					●																史記「荊軻」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
1 学期 後半	登場人物の描写を読み取り、心情を考察しよう																					源氏物語「須磨」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
	文章に現れたものの見方や考え方を理解する		●																			大鏡「三舟の才」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
	批評の目を通して古文を評価する態度や手法について考えを深めよう																					無名抄「深草の里」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
2 学期 前半	人物造形や心理描写に触れる	●																				無名草子「清少納言」 「祭式部」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
	句作をめぐる苦心や理念を読み取り、俳諧に対する理解を深めよう																					去来抄「行く春を」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
	批評の目を通してものの見方や考え方を深める																					玉勝間「兼好法師が詞のあけつらひ」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
2 学期 後半	登場人物の描写を読み取り、思考を考察しよう					●																史記「張儀」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
	古体の詩に触れ、詩に現れた作者の想いを読み取ろう			●																		古体の詩「石壕吏」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
	内容や解釈を自身の知見と結びつけよう	●																				問題演習	(1)-定期テスト (2)-定期テスト (3)-振り返りシート	
3 学期	登場人物の造形を考察し、正確に読解しよう		●																			問題演習	(1)-定期テスト (2)-定期テスト (3)-振り返りシート	
	知識・理解を深めよう																					問題演習	(1)-定期テスト (2)-定期テスト (3)-振り返りシート	

単

位
2単位

■使用教科書

精選現代の国語（東京書籍）

■使用副教材

新国語総合ガイド(啓隆社)、熟語を音訓から学ぶ 新版-品詞別-頻出漢字マスター3000(尚文出版)

目

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
 - (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 - (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

内

(知識及び技能)

- (1) 言葉の特徴や使い方に関すること
 - ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。
 - イ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。
 - ウ 常用漢字の読みと慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。
 - エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
 - オ 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。
 - カ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。
- (2) 情報の扱いに関すること
 - ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。
 - イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。
 - ウ 推論の仕方を理解し使うこと。
 - エ 情報の妥当性や信頼性の味方の仕方について理解を深め使うこと。
 - オ 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うこと。
- (3) 我が国の言語文化に関すること
 - ア 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めること。

(思考力、判断力、表現力等)

- 話すこと・聞くこと
 - ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。
 - イ 自分の考えを的確に伝えるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること。
 - ウ 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫すること。
 - エ 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすること。
 - オ 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。
- 書くこと
 - ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。
 - イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。
 - ウ 自分の考えや事柄を的確に伝えるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。
 - エ 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。
- 読むこと
 - ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。
 - イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

点

(1) 知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。
(2) 思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉の効果的に使おうとしている。

導

月	単元名	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			言語活動	教材(教科書)	評価の観点及び評価方法	配当 予定 時数
		(1)	(2)	(3)	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと				
		アイウエオカ	アイウエオ	ア	アイウエオ	アイウエ	アイ				
1 学 期 前 半	他者に魅力が伝わる話し方を実践しよう	●					●		「本を紹介する」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
	情報を正確に読み取り、分かりやすく書こう		●				●		「新聞記事をもとに問いを作り、意見をまとめる」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
1 学 期 後 半	筆者の主張を読み取り、もの見方・考え方を深めよう		●				●	●	「ものと記号」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
	話し合いを通して結論を導き出そう			●			●		「情報を整理しながら話し合う」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
2 学 期 前 半	情報を精査して相手に伝わる文章を書こう			●			●	●	「手順を整理して正確に伝える」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
	自ら問いを立て、探究した成果を表現しよう		●				●	●	「探究したことを発信する」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
2 学 期 後 半	探究の成果を表現しよう	●	●				●	●	「論証してレポートを書く」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
	話の構成を工夫して自分の意見を伝えよう		●				●	●	「発想を広げて課題を見つける」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
3 学 期	他者の意見をふまえて自身の意見をまとめよう		●		●		●	●	「異なる主張の文章を読み比べて自分の意見を書く」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
	実用文の読み方を学び、内容を的確にとらえよう	●	●				●	●	「実用文を読む-公園のバリアフリー」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	
	情報を収集して伝え合おう	●			●	●	●	●	「分かりやすい説明をする」	(1)-ワークシート、定期テスト (2)-ワークシート、定期テスト (3)-振り返りシート	

